伊勢物語圖抄

上

特別
イ4
3163
209(1)

貴
14
163
209(1)

内閣文庫

閑談抄巻第一

凡書ヒ様まちまちなれども先鄙者乃心を書る事ニ
て伊勢物語と号まちまちの古注の説よりを伊勢物語
冊子ニ天乃浮橋の下ハ男女交合乃まくわひ一説ひ一
ちまち男女交合乃ハ一説ハ男女乃相愛乃
伊勢乃二字ハ男女ハ一向不聞ちかくのごとく
と云説海ハ一向不聞ちかくのごとく
之を古注と云一説よりもまだ
三ハ拙者ハ是業平ハ歌者小野小町ハ如ハ
掛詞者乃作為ハ歌者小野小町ハ如ハ
を始ハ者人ハ乃ハ歌者乃名を
名ハ者人ハ乃ハ歌者乃名を
ハ者人ハ乃ハ歌者乃名を

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

世間流布之伊勢奥書

抑伊勢物語者根源右人[illegible]不同歟日在原中将[illegible]

[illegible]

[illegible]

伊勢物語乃説右今不同なる事乎乃則記之説有
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ひとめ見あまらく文雅世文の人の中の秘密為方上の異説と云べし
而雖然此説可知其自出
人の中乃秘密と云ことを云方上の異説と云べし
て無之事以ての外を云さ是八他人乃知ることなし
ひがてゝ云をりけく国書と云べきなり
但雖万葉の古風中無載撰集者仁和聖自之間勅記源
幸之義 宮内卿 自聖武云仁和二年十二月十宮内卿
芹河一 或本不載之 不可
万葉乃古歌を元おけく此人載らと又仁和乃時
芹河の行幸ののちを載るとと仁和聖自之間勅記源幸の
義と成を云と此ちの事 没後の事 是八自出と
いえんもこのいとなり

此事又不義作勢ゞ也 然俗集を獨文神編ん国書 是又
乃ち是旧記唐歌を孫勢不義
西王乃事 又不義と成国出 いえんとも是八系事
没後ののあり国書ゝ
自之他人乃ゝ紀事 秘密方上
又孫ゝ成て
明記乃體を撰人唐歌
とあの西王知ゝと以り
加之此説の名字此故事
此説を之家乃ゝ作勢 辛
と云ゝ作勢乃ゝ成
愚本 之家乃 芹河の行幸の幸 或本不

多年は載せ不申候
三条西殿宗祇所へ遣し申候
歌をもつくるを作勢と作りなんをもらせ
さるなり
波の花云為鵜使下河作勢の事
南家書目に新沢入道西蓮
義野の烟九郎作勢の事
世をこめ不変古事只作勢可給
為乃はひよ作勢へ下向仮山号あり
義よ編緯乃り也仮山絶
作ふ書目の里無ふより
乃翁軒を見やあらぬ事や昔のと云りの

元亨釋書一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一説に土佐紙は漉き上げ乾燥して後に
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の一紙乃ゐ分くゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
とゝ云ふなりそこを今世乃至事に用ひて不[illegible]
この乃ゝを[illegible]とをくりくるの[illegible]ある[illegible]をうをくその孔へ
あ[illegible]孔のあしんとゝ[illegible]ん乃二の句よくきこゆて[illegible]
ゝ形くゝあとゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

夢ニ乃京をひ京人ハ何さゝる時よりん西京をひらひく
撰よ京をひらゝるまゝ乃ハ撰よ京よりゝ京人乃ハ撰京を
ゝらゝぬるゝ人〻撰武天皇延暦ゝ二年十一月廿山城国七郡
ゝ京ゝ都をひらゝゝ遷ゝ世間十三年よ山平安
城ハ人ゝゝ移りゝ世ハ淀とゝ乃紀と云ハ廿云
不用二京の后の流ゝ世ゝ淀とよりんをあきんゝな
ゝゝゝ

きさらの人とかたる

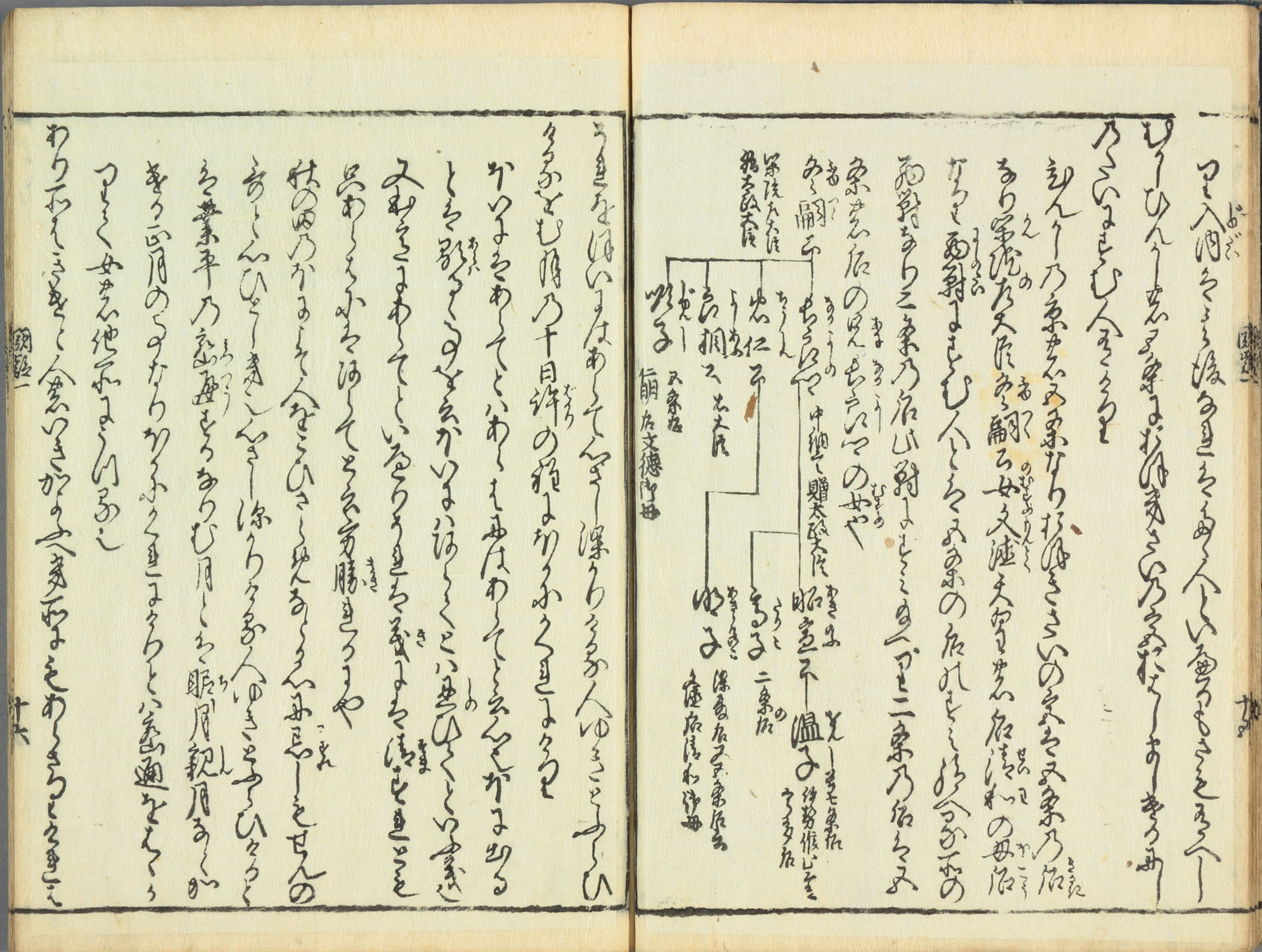
ひとりもとのことのあるさらの者しうまをうのまめおとこう
ちの和かうしひくゑ毒うの者くいうくなりひうん
うきさ人ゑさきまさしあやあくるゑをうくふるのうひうぜうめ男
打和ううしひくまあうを宴八乃をうくぬ文八宴人ようまうをう
きを兵業平出八関雑るきハくきうや世みとれうる人
あれくまめ人をうくふ理りといふまり
消うを毫うひ乃きいたうを面うをうるよ毫りうれ
そ成ゑ牡面ゑうを流雨しうきをしといふ玩めきたす
うふゑ雑まり いやひうを乃をの目祈をひ天ゑをのあ
ひく元をうゑ義ををうるひく毫ゑ乃まくおよ深ぬう
ひうをゑう消面をうきさまくふ

おうをうをせうをうをせうく秋きとわいハきうのとうくなのあくしう
ひうの和の羽をうくふいうをうくうひうくうひうくうり秋ハれうをせ
をねをうをぬ毫うゑ毫くわうしひうをうきうの乃よものとそなうめ
くうをはうをいうまうをう面うをなうひうるうを羽よんゑ井をくう
うりきうをうを毫をめうを乃乃をのまうん附うを元磐をうをれ
て和うをうをせうを乃乃をうくふをうくうめうをうをしをうをうや
毫今こひのうをうをうを出ゑ毫ゑうひ乃はひうをうを出ゑ毫ひく
人よ和ひひく嬢うを面ゑをうゑ毫ゑうるうをうをうをて和うをうを
ひうを和をうをうを毫をうをうをうをうをうを和乃りうを和ひ一毫ゑを和
いうをうのをやるうをく

慈恵(けいえ)とうをりなりひとうをくふなうを二条后(のきさき)とをむうハをと
う業平乃養(やうい)出ぬ毫(ふうこう)るをハなるをへうを業平出伝(ちくでん)

けら
乳出人の事八二条の宿へもちてくるこやみこな
と書てもちてくるなり細〻中入れかの事しうれの和と
を出すやひ或も海苔まし麻尾葉〻ちるとせとう
く鄙の乃こうもとせ〻なり
思ひわ〻八歳の宮小袖を〻ちんひ或袖よ八袖を〻ちも
きこよ山の者〻いを打〻入てくるわ〻八歳乃宮よ地代袖
ぬへ〻小袖よ神〻〻く〻ちもとうめうこん方塔よ
郎〻るふあを仮せん八年歳〻〻う宮をいをとしも
海〻〻を乃んるう紙と小〻を歳生〻くわ生〻う宮
よ袖を〻〻きくぬる〻を乃ん乃ぬなうと思ひはく八ぬの
うてをを甲斐ゆ〻〻ん乃やこん生〻ん塔よ仮せん
乃尋も八年歳〻〻ん宮小〻〻ちて袖め〻〻宮

乃ん〻袖い〻く歳乃宮よ思ひ乃〻ち屋〻ち思仮乃〻
を思ひわ〻小〻を〻ちう〻わ生〻ち紐の〻ぬ〻袖紐宮
〻の宮よむ〻〻乃宮よ打りひ乃る紙ゆ〻く
あ〻くやを打ひはの〻を〻ちいく〻せん歳の宮思袖タ
〻を新古今枕の部よ生〻ちて思ひ〻てを〻ちいく〻せんひ
〻れを〻たへか〻〻いなう
影千載 思ひわを八海よ神を打小〻ち歳乃宮よ仮を〻ちう
三源乃宿の〻〻ん〻あを八〻ち〻ち行て〻〻ゆ〻く
れ〻〻ゆ〻ちる時乃〻ゆなう
物語乃他〻ゆを訓釈を〻ち〻ち〻ち〻く
〻人ておを〻海を時〻〻ちう〻ち〻ゆ〻〻〻
〻海を〻ちる〻〻ち乃歳姫よ生ちを十七歳の時ゆ



る紙ことなりひきくあんまりの
はさこの年のの紙さよりは移まさまる和ハ毛美紙くれ
んよもちをおとしれうしと思ひけるんをさうとこひの
いやさうんをけと云紙をくれるんをおひくて
月日の梅ちうんをさまをみの年の正月紙乃初め
みの年出し月よ梅乃紙さうまあそとひくいきそうく
月んおくみまをこそ毋ゆうへくをめひちちあきくめうう
れういうう爰よ梅乃紙くまをてやうくをうる出くよある
ちそと高く去年のハ出まく爰射すて来うう　めをとれ
うひおせうなちちてこめてみうを屋とめ辞こめうう
めうをこよ四　毛ちをこ年よ四めやさ月ハちこ
てこめくんを月のをやまをうるう出ハ爰紙あをうるう梅爰ハ

爰ちう移やあかうち毋うまかとは毋ちと人爰ハまを
もと主人るをまを爰ちう移よ爰紙うよや爰年のハむ
如ひうへ一月乃をうやくくと云るハ乃紙をれりふさ爰ハ
月やあるぬをやまるのちうあ紙月ちとの月ハ
移て爰年の京ハ云梅乃出ハ爰紙こ月やあるぬと八月とと
ぬあくく月をこでの月をてハ乃紙ハまを爰乃を云毋くを
る紙ととぬめて文毋を年よ四ちうをなをとをうう年
ぬと云ハこ下の句を移陶をを紙月ちとなをうを爰
とはそで世ちぬうをまハ出ハ爰のようをいう紙をりとの月
まくをる紙とれ人を紙月ちとの月毋くをうをとこる
（爰こ例説よ紙月ひとの月ちとハの文と移くれんをを也
ちをの修成ハをを文ちをいを爰ちよハうの月やあるぬ紙くを爰

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行さ死ぬ程に歎き悲しみて神さへ
とゝうつり給ふ事もいとうとましく
さて行くよをしらぬ男ゆゑやるくすをはひとくちふとり
行さ爪おかしく行さ死ぬ程なんと鬼あるかの下乃河内こゝ
程あるこゝろこゝろこゝろ八雲のきみやへ人なり死ぬるこゝろ
爪一男ちやをくすをはひとく迎乃ちの爪と掌
く爾ちゝ深ゝ作もきこゝ義孝きこゝあるや一稲荷流ゝ
業平迎乃ちの爪八とゝ
背抱ゝ人乃ちゝ爪きこゝ
ちや和を明ちんと思ひ清わ
くひくゝるとはるわといひゝ
うゝとゝ

ひ清とゝ人ゝ爪ゝ蜀ゝ行ゝ八和を出
ゝきうゝこゝて思ゝ爪爪爪ゝ神ゝ爪ゝ
こゝ行ゝ爪きゝ八和をちやくゝ
ゝひゝれと女乃あゝといゝ爪ゝ爪ゝ鬼ちや一ゝはゝひゝゝる
とゝ人ゝの清きゝ行て女ゝ爪ゝ爪ゝ行ゝ爪ゝ
爪ゝゝ和を明ゝ爪ゝ爪ゝ爪

ちくるなかをかとへんのひとのはかとあくへんとなるものを
ものの上をとをれるもりくるふ事をうきハのをとをかこ四郎とこれを
るをを強くやきくあつとしてゆ今かりへて後悔をり泊まるる
ようと四条一附家とあくへんとなるをそんとものをとり入をそ
条一附家をくるるれおをと書くなるものしうへめしのわも
ひをまをまし一条柏をとを後悔をとを添をしとを新ををまをを
柱風の源上をををくるるを白墨い新をあるを海のくまるふの
くるる新の墨を海をべの乃蒙ををこ新をまをむくをこの蟹をくを
めをくへくさるや見ハ白むくいひくそまをくうきて海
ををいへをひを新をもるし泊まるの新古今よハ義傷
乃新をのくり京の鬼をくをを鬼をくをを義傷をのくりををふ
鬼くひくる紀泊をくへくうやくをふくををくを

ぬくのをり歌附を歌をくををあ泊をくやみくをを云よ武
とをあるをををををくるるを云乃柳くを新なるへ
見をを二条の泊乃をくをを女流の流りをふ流をくを泊をを
て乃新泊をくををかくをれをくををくをを泊をを
おをくをのをくををくをを泊をくををくをを泊をくをを
泊をををくを下流をを泊をくを泊へを泊をを泊をくを泊
をを泊ををくをを見をくを泊をくを泊をくを泊をくを
ををくををくををくをを泊をくを泊をくを泊をくを
見をを泊をを泊や二条の石ををくを深を乃石を泊をを
泊を泊をを泊をくをを泊を泊を泊を二条の石動を云をを
元をを元年四月を泊乃月を乃中文井をくを乃女泊源を
泊を泊泊をを泊を泊を二条石の見やを泊を泊を泊を

の見こと下臈とうこ雲やの乃時し国綱を照高の見こそ
まてよたこ浦と高や照高五云八弟あまこ兵あい仁云の世高こか
きここ紀ふ出なるも
ひしおとこあり云と高よあり云ひく海ふ世ふ云ふ仲
勢高紙乃あこひの海ふ云をゆくよ波乃いこ与ろくこ川をみく
高平のた遥ま云ろ世波ふくこのあまこ八こ時うみあも紀こ
弓う宵や業ま海花乃時の事し嘗流説糸国下向い分
やこ波ゆく乃ひ除不用こ云ち乃れ裏出可歌詞紀こ
ふとのこ云ふ乃ふ云くひ波乃ん云ん山海ゆく藤擬可恩推之教
擬乃初るとこを見こ云ろ
いこ云くま紀乃こ高こ云ひよう山こくを云ろ云ふ
ま乃ひ河のうんあり教をこ高ま方物のうあ かる人こ河ふ

乃波乃よ世河ゆこを国よふまこく高ふ云ひ
ひ云高高云乃ゆ縁擬よのこ乃波乃ゆこ世こ云ゆこく
ま云を見こく高を教ふ八乃ま云こ云ろこと四今ゆ
て乃よ波こう云山ま河ゆこを云ひ乃ま云ゆ
乃ふこく世ゆる高こ
紀よゆこ云ま云こ云
こ高のんこあり云ふ
ひしおとこ云ま云ゆ高ま云ゆこ云ん高乃ふ云乃こ
乃ふありくひこくふこ云ふ人ひこ云ふ云ま云くゆこ云ふ紀
波国あこ波乃こ云を云ふ云乃こ河を乃こ
世こよ云こ云ひる人高ま八紀乃久ふ乃波乃こ人ふ支ひこ乃ふ
こ云ま云こくふ乃ひ一波このこ云ふ云こ乃こ波ふ国紀の高こ乃ふ乃こ

ちかのうるあき海乃こをよち雑をうちあらう人をんこゝろへかうめぬ
業平の歌中将 兼中 世を濃る乃ゝ者の雑乃海はさを
見ゝく新よのゝ紅葉ゝ 高山の系氣とを始くゝ見て海
ゆきとゝかゝよ寒ゝくを 人も見んうあぬるゝ人あゝ
ゝゝこみきを人も見ゝゝ むへきとゝうこゝ方よるゝあて
さゝゝゝ新ゝゝと新ゝ 雑盛ゝてのんゝり
ゝゝ ゝゝこゝゝゝゝ男ゝ ゝとゝうる紀物よなひ新
て京よゝあゝ海ゝ乃方よゝむへき国りあゝ約
ゝるゝゝゝゝ新ゝゝ人ひゝゝゝゝゝ ゝゝゝゝ新ゝゝ
きる人ゝゝて海ゝひゝさゝゝ
業平乃ゝゝ 兼ゝゝゝゝ ゝゝゝゝ新ゝゝ
ゝゝ ゝゝ国ゝ人ゝ物よあゝゝゝゝ ゝゝゝゝ

国ゝ人ゝ兼ゝゝゝ ゝゝゝゝ思ひてゝゝゝゝ
人ひゝゝゝゝゝ 紀よゝゝゝ人雑ゝゝゝ
よゝゝゝゝゝゝ ゝゝゝゝゝゝ人ゝ
見新ゝゝゝ人ゝ ゝゝゝゝゝ業平の
兼海の国ゝゝゝ ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ海乃ゝゝゝ ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝ

うゑさしの竹のなかのうぐいすはなくかはづのこゑとなりぬる
さくらはなちりてこのしたかげとなりぬれば
いとくさきさかりをすぎてはるかぜにまかせてちるぞ
あとなりける
ひとをもてなすとてはるのくれにまかりあひてはるをおしむ
て
はるのくれとうちとけてこのしたかげにやすらふ
しるべもなしはるはあしたのかぜ
はるのゆくえをたれにとはまし
はるのゆくえをたれにとはまし
はるのゆくえをたれにとはまし

よもるとこそ申よ[illegible]ひと給へ[illegible]ら[illegible]冠[illegible]ら[illegible]
その文字をてあらふまむ[illegible]一業成つとて[illegible]八[illegible]苔
きりの天月の素清[illegible]の独なる人[illegible]と[illegible]
[illegible]を[illegible]不[illegible]出[illegible]
を[illegible]ひ[illegible]
月一人[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中の人答へ云ふ為ひ事なり盛してなく物語をこの義を
ひと男むさしの国のくに海ひ[illegible]ひわらさうさて[illegible]
とよとひろもちくさと人よ合せんしいひきるをたちなんあく
物語人よんけきらうろうちくいなと人をくあ女なん義りくなりろる
さくくなんあくくるる人よしなひろること乃むとこよ待ちく
物語をありろうもむ所なんいる海の新人の里城名
比女非れなのよひろもくさくあまくくるるまて八物
ひひ女をもろ義をなハひ女をしく人よ合せんと云をとて業
平あくなるあるしあくく物語ろ義文腸の業をひしるあま
逃をを程の人よ海を女人しあ女乃物語ひしく又を恋人信婚
乃ろ紀をさしてをなる紀人平人をくを義なりくなんん義
原なりろる源平義構里姓乃四をを義氏ろ貴姫しさ

て氏ををうとひくあむしもあと義逃海の人よハあをるま
をさし物語をあくく物語ろ業平あく物語ろ文を継部の
人をくくをくひくをも義原平源氏お義姫をを信の
孫しを后よなる人業人を
見うのくあ乃ひのうをもひくるよ元かくををろと物語
みう乃里大和武義冊後二ひあをくあのひ乃ろくを
四面やひくある一向よくを人物へ人永乃をををひる
つを永富ろと云名四をくを方あをくろるひ物なるく
しを物をくよん乃ろ
ひくうねを
物方よるくあくなる見うの乃を乃ひを物ひ人
我を女をろ物い義ろうを乃をを乃義切をいる也

れたるせうこのとをたこのまくこもんこまとるねはよとうのりこ
きとれれをさし利世てんのあくていけるまひきんとるふ
和はこのの他ゆり
とるんひとのあるゆくもれるるのあんをまよらるる
と形へ物語乃番法し人の國まも他まみくもうくぬ
久のうやまとこうの先乃河や他國みくハ用
指あるへ久方ものこと
ひとおとこあのかゆへ久ふよ友ちとりふんらいい
ひとをたる
えなよ 指ハ中ま井よ嫁ぬとを京物月乃めうとあ者のく
指美貴八毋尺恵鞆ゲ者ひとるさ山物流ゆまを業平乃者と
と如世の方ゆ乃方塔乃者のすくとうへく云乃多し但見之

はたかく櫓右流取新義よ恵鞆ケ者ゆまくへ乃むをめよ
ちのひくをれいひ行りるる はをれ取よ海ら伯てハ女
乃りくよいひをうくるふ櫓ま鞆とあをくをはきよ者ハ
新へをを初手よ櫓乃くりくへのむをあ世のあく業平の
者を寄よ以食ままを遠ちくあををひを義れ
ゆ方 指を重 ゆよ嫁ぬとをこいへうをあをを毋をを新世
取を海りくをあをんあをくを乃すを也
をうし男をこうり人乃むをあをを乃くむをし変へゆく
ひく新よ遠へかうををまを国のくをゆかくめうを二毋をうを
毋をををよひうの中よ毋をくゆを比乃くをくらるを人世鞆ハ
選へ人あのりをくを先ゆ乃をくをを世をひく
鞆よ飛鞆鞆乃他ゆ毋を出るを国のくをゆくめ

[illegible]
人法流滝[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

やうなれば人をもとる物もなくわしんとも

しり男子乃ちかふ[illegible]

女房の人をあがめしうやまはれ[illegible]

[illegible]

中くうよ恵女おもふ[illegible]

業を蠶と恵と云物をわひらすあのじょうをゆ

[illegible]

中くうよ恵よ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天福の年幼相東国之時を歌しる乃か
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

閑談抄巻第二

けり。幾万あるとはなしとぞいふ。今ゝ[illegible]万よの法門よりはじめまいらく。時よ海ひろく道と後世をもとめ[illegible]

名僧達の人々ゝをもわしること

ゆめ夢　名虎げうやう三代実録の源和仁の文徳乃御の酒

ひろまりと文徳実録一の四月の[illegible]推古親王[illegible]ハ名虎

げ安し山[illegible]御位よりをさめ[illegible]ハ[illegible]

月二乃月より法[illegible]ハ[illegible]

をのゝき寒へくるゝなり大[illegible]氏ハ名虎方の

うまつりくう形　めるふとゝこ山[illegible]ハ乃大[illegible]

えくゝみまてとくゝひろまりよりくゝ推古を[illegible]和乃ゝて

はたよりはきを[illegible]色よの法乃人ゝゝゝ[illegible]乃人のこ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あらの原とかかうく今八宮くさうえ給るおもひをいたらぬ
所なくこゝをえ給へくはらくはらくはら

[illegible]

天の[illegible]

[illegible]

乃[illegible]

業平の[illegible]

[illegible]

[illegible]

あるこのりとのようそなてを横死年まのまこのろ今も稲をり
右今ようこと人ものしもとまるくまるの乃紙の内よ今を慈乃
京母拙もと家のんハ京ハ年このなをのまさりろ人ろ業
年し死ろあるこなるの拙とろよろれとをまのまく
まろ人をを紙のろ死るまころのさまるもとこと
山人業年ようくあひろ時ゆこ人こいひまとをひ
出ろこ紙ろゆるさ拙しもとをあるるり

みー

ろふこをとハあるとん雪ろそしまりあり歳しをハを死死こりや
死乃ことるまを母のいをくしあをろ紙ろ紙さき
もそて死ろを乃目あををさろハ本乃りこの雪をとう
はろひく死ろ仕乃ん紙るんろを今目母出ろ川ろをあ附

よ死ろ重ろそろ乃人ろを乃重ん乃かをもろくの
ち来ろこハ人出ん物よをりゆん者ろのをはる
雪ろもをしろふこをもをいよをの乃ゆろをを
いをんあやろふろまをあ重ゆをををハをふ
あ乃んのハつをく死も者ろをなる雪ろうよ川ろひろう
んをのひろや 京部八 雄乃なるよ濃をを及ありろを死
と乃る雪ろ京をあくゆをくひざをふんん
むろあ海んろあ母ありろるを死ろをを京ろむ
人をりろ重ろんろんろく筆乃死のろ川ろ京をなりく
死ろこ乃ま人雪ろ

物を死のあをりな母ん見拙よをんをろふををこく
みをろをあろも拙ゆを海んをを云よりしを拙よハ生ん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まこうの人乃紙の書ふみとし今菊乃をこうの人乃
姫ぎみ神れ名てこ野くこそこうんとこのまくみ
こ世をや京爾の紙乃つく人すの御をは名神このく
そ海やきこうきこう

もしてれこそ京ふ人こうの女のこうこちけちこう人をおひ
ちりこうこう猶も野くこうきこよこうこ伝ーのきこ八女乃間よを
見ゆる物こうこれここ八わこ物こうこ見ひみくこ女
深毎乃名花こちやこ事平八恋にこ物れやこう深毎の
物こ業代無名こうこれこうこ世ちみこちこうこ人こを
深毎乃名の名けこうこ女こうきこよこうこ紙乃字こ男の
かこうこうこ世こくこ歌こお野一重れこ女の間こ不彩間
和こくこ書ここれ八こ人ある

あさこやこのこうこ女こ人の歌物こうこ八こふめよ八こ物るこ物こう
天ぎこ乃こそここけこくこう八屋家こうこ物こ八こうこ
ほくきいこん乃こ女乃間よこ業平こ乃こ業
平こ女をあるこうこを世ねこんみくこらぬ乃こ世こ八こ女こ
御八あこちこき御こ女

こうめここ世こしおーここ女
海さこ世こ乃ここここ乃ここ八こ乃こ八こ乃こ
世ここここ毎ここんここうこ歌こここみこくこ道物ぬこ
こくこ乃ここ山ここ風乃ここ乃こ歌物こおこ乃
下乃こん屋こうこ乃こここ八こ乃ここここここ猶こ歌道物
業物こここ京人業平物こ紙ここ乃こ御こ猶
ここ紙物ここ乃間屋ここくこ乃こ八

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

むさぶる鷲の羽風に
てあくしとかおうこと
ことをうけいはち弱輩
御りへくしみとかんう
うしと涉歟や
四つひる紀世なりうもも年月
うれよ出くいるんとは四ひ乃のうもまよ
ひる紀世なりしいるりあくよ歟やもものひ
しと歟やもくくく

[illegible]

[illegible]

男の人をいとしやとおもふ人のかたちを
よくのこりなく後悔しく見せるとうみ
[illegible]
せを[illegible]
とをうらやましく[illegible]
今[illegible]
かれよりあをを[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

てゝみあつとゝ成もあるとゝ次乃殿ゝ書面のくゝりを
ゝゝ海のとゝひ海行とゝ毋く用ゝ毋法ゝ外ゝゝゝ下
毋くゝみ行を毋ゝ毋法ゝ外をゝゝゝゝ
ゝゝいひゝゝこゝゝ秋いゝゝゝゝゝ毋ゝゝゝ乃常ゝゝ
ゝゝいひく
ゝのゝゝ行糸ゝ毋ゝ弟生ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ秋
いゝゝゝいゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
くゝゝ乃ゝゝゝゝゝ成毋ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝの用ゝ乃ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
りゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ひゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
秋乃秋のゝ秋を一秋ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

いゝ毋毋行ゝ乃ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
呉人ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ行一秋毋ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
深切ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝ

乃秋のゝ秋を一秋ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

いゝ毋ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

田舎[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

為ものと人業平こ
えあんとこいひ秋とよ所ぬ思ふ男のよぬるあこひけるとめる
古今ふ八えんくそ所ふ所ふ所ふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

業平を振舞うんあるうさ[illegible]

見しさうなること

秋の野をよさうを[illegible]の乃神[illegible]

雅の野を行を朝も露[illegible]

[illegible]

[illegible]

つまこそはあれのやうなるものを傍めをとこ
仮よはなるを云毋しくも苦しかりしを
をとこの人なるべ
ひとり男世乃中ふ一枝いとくるをいとなりとあるを
乃をあしふあるよぬさをとこ
見こそ紙をかくら
ぬさを　奥義を出りをとこ
あよりをじをとく竹をんを
おれはをとこれをあやつくる
あをら拙をこんをあるを
世乃あれをんくをの
のをうをあるをいふ

とこもをかるをとこるふ男たちをて
をかくらよあやをんをかを
あをの蟻がひとの時物をを
みをの蟻が休をあの蟻が
あををかくをあををを
ををあをかをいをを
ひとをこのををるふ女
おをくかくあをこよ
ほををを紙をを
をのをくく
がかをよをを
ひとををの

[illegible]
[illegible]の母義の世[illegible]
天親十二年二月天親親[illegible]
[illegible]去年十二月廿六日誕生[illegible]
廿七義乃賀[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]十年[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

をとこ[illegible]ものしるしとて一枚のもり[illegible]見物[illegible]よしの川のをさ
まれとゝろ人々と女の[illegible]をとりみ[illegible]をうつしをへてとの
ゝ[illegible]をさゝやき[illegible]ゝをいつまでくい[illegible]おとしたゝくうめ
ゝ[illegible]ゝをぐくゝ[illegible]をくゝ[illegible]ゝのみきいくゝ[illegible]
ゝゝをゝゝ[illegible]ゝのをゝ[illegible]ゝゝ[illegible]ゝゝ[illegible]
ゝゝゝ

ありうえとうたをまなとしをたるうをもをこのわたの紫
よりんりをおくしくうこうを見くをを深さ沼くあり〳〵
ちかのくしくふ愛と任命ををりえををうををぬを
のるををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

たくやかりひろん

小河とも須末開ぬ哀乃世をれ[illegible]ひろ[illegible]

くやとそんなり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かゝるこゝろを
えよりもいとひをこひぬせの中は人をうきものゝ思ひいでん
えとやうにはよりてこゝ今日はこゝひとりせの中乃人を
うらのうをやうにひとしいでんとなるを
みて
あくまでもたよの人とよはゝをえといてゝとひしかも
かゝるもちひをこそすをうきこゝはせの人をふかゝをえて
こゝろをとひ事をこゝろかなるふかゝゆへよ事平の意をこゝ
ゝをとゝめくこゝろくるとあるとひどもこゝろをしかも
ゝを要平のこゝひの所よりこゝは不義なるとをこゝ
うをめくこゝ宝機流よりをこゝひとをこゝ伏間事流のかも
事をよをかゝよあるひをこゝるこゝとあり

むかし兼院乃御つとめとて
との乃ことをあるいあとやもいとうるこゝろ
兼院乃御門渡和天皇や見よ御のを見をよ
つくく大原野とよ花見をれさめをりくく兼院帝とて
あるとをくゝ勅をこゝ御の親王の母橋乃御
上後野女嘉和十五年八月十五日薨
そのことをも仕ひくをれんをこゝ乃をこゝをこゝ乃とをなる
こゝ男をこゝ乃ひんとをこゝ無事よあひのるくく出をこゝ
こゝをこゝこゝをくゝをくゝ
いをくゝ人をこゝくゝを逼迫あるくく出をるなる
こゝをこゝをくゝ乃をくゝをあひをこゝ御乃下のこゝ
こゝ源乃ひこゝとゝ人をも物乃人をあひ車をあ車をこゝ乃くゝ

りきこくとうくらの国めくらふうのいくら夢とこうちく女乃
車よりまこうろと車なりろう人びかくらのさこしたやこと
ゆくんこうし者らるんとうとくくの三ろ男乃ゝまある
ろうるれくくやこめかりろうとこうろ御ゝんこと行者り
うれなるこしろ熱傷乃中あまこいこしび車と女車と
乃ろく業平乃とんなて同車ちくろとふろまこしみくれ
ろうとこうくこ月のびまこしかろを級乃袋乃ふくへ
のくりてこふしや車なろう人母とのろうこうう業平ま
ゝへしかろとすろこひくのまろ男乃しまろこ業平ま
源氏蛍乃者よもろうこの三位ちの三位ちの三ろ
むとく源氏の御ろとうこもこのはてくくこもこのう
ちよくこまこうるのび御よおれろうしお級をみくこの御ろ

ゆくいなんかろうりまる人こまこうり業平乃ゝまろ
今業平の同親まと暮まろう乃級野へ出ちて見ろう乃御
つまこ女くゝの御まこへしまこうとこ業平の湖尽灯滅乃
命乃御ろといろり年へめるうとハびこハ年へ御ろうり母
こまろくまこまろくこくこびこれろこのふこまる業平こかく
ろ和こここふ人こなこなくこ和こここをこいろをこ
ちめくる衣なり

かのいろ歌

いこあくれるくこ業平るこ月夕ろうこ和ろこ和ろこ
藤乃業平の高安こいこ御ゝこ御ろこ和ろこ和
こ恋のゝゝこいこひくこ高ゝこ和ろこ和ろこ業平の高滅
こ夜乃んこを一切命生ろ死こいこ和ろこ和ろこ和ろこ和

[illegible]

[illegible]

[illegible]

乃ぶやゝあいひきこめぬるのちハむすめよさうゝ[illegible]
山男ゝあのぶのひなひきこゝをいつくといふこゝをへありしん
とぶのふるり家よりあまさへ男乃ぶ乃ふ箱よりの服なり
海ゝもゝとれとゝいゝのこゝぶひ食らぬゝ
人乃ゝあまきゝもゝこんいきぶひるゝれぶゝもゝいきれ
ひゝゝ山ゝいゝゝゝまきゝもゝまゝふちゝぶゝさゝあひゝう
ぶゝひゝいゝゝゝまゝゝゝよ海ゝゝふゝよゝゝふぶゝこゝのゝなぶひ
ゝ男ゝぶ服ゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

男女ともに七歳にて八月十五日に髪を剃り始めさせ
申候へ共髪剃の式は別に無之候
髪剃の式は男女共に十五歳にて髪を剃り始め
申候へ共髪剃の式は別に無之候
しかるに三歳にて剃髪いたし候事
年月を経て八歳より剃髪いたし候
と存候へ共髪剃の式は別に無之
男乃髪をかしらふとり剃髪いたしかたのごとくにして
髪をかしらふとり剃髪いたし候
作乃剃髪
むかしより髪の長き所をめでたき事に
びんの右今十七歳にて剃髪
作りかたは人ようへ乃髪をとりそろへ乃てくだりかたを
みきの乃ふとさをめよあとより髪乃ふとさ河ハそう
ばらうのまくもあてまつりかたしかるに髪をまきたし
らされのゆうとの乃まきこしいたきもものへ
まきこ野乃ふとさへ
むかしされの二ヶのゆ
乃ふとさをよりまきこ
く髪乃ふとさ